

冬場の体育での服装について



朝晩の冷え込みがだいぶ厳しくなり、コートや手袋を着用して登校する児童が多くなりました。

さて、体育の授業では、お子さんの健康や安全面を第一に考えて、日頃より指導にあたっています。これから寒さが一段と厳しくなりますが、体育の指導を通して、体が温まったら上着を脱いだり汗を拭いたり、また、運動の内容に応じて、安全を考えて判断できる力を育ててまいります。そこで、以下のことについて保護者の皆様と共通理解を図って指導してまいります。ご協力お願いいたします。

◎長袖を着用するときには、半袖・半ズボンの体操服の上に、ファスナーやフードのないトレーナーや長袖Tシャツを着用してください。

手袋は着用できますが、マフラーやネックウォーマーは安全上の理由から禁止しています。

◎体があたたかくなったらトレーナーや手袋は脱ぐようにしましょう。

◎ひざ上までの長い靴下（ニーハイ）やタイツはひざの動きが制限され、けがをした時に様子を確認しにくいいため、体育の学習には適しません。

ひざ下の靴下をはくか、ひざ上の靴下を下げて参加するようにします。



長袖Tシャツ



トレーナー



フリース



ダウンコート



手袋



マフラー・ネックウォーマー

～その日の体調等で配慮が必要なことがあれば、連絡帳でご連絡ください～